|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **理科** | **第１学年** | **呉市立広南中学校** | **指導者　佐伯育伸** |

**単元名**

**本単元で育成する資質・能力**

**「陸上競技（リレー走）」**　挑戦問題　**『目指せ世界一のリレー！　』**

**知識・技能　情報収集・判断　思考・表現　挑戦・探究　協力・協働**

**１　単元で目指す学ぶ姿**

リレーチームの一員として協働し，バトンの受け渡しでタイミングを合わせることを目標に

知識・技能を獲得し，リレーのタイムを上げることに挑戦していく姿

【評価方法】

　　　授業中の教師観察およびワークシート，提出物等，生徒には，次の資質・能力のルーブリック

　　　のAとS基準を示し，意欲を喚起させ，単元の最後の自己評価に教師評価を加える。

＜単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　**現指導要領** | **資質・能力** | **評価** | **評　価　基　準** |
| **知**識・理解 | **知識・技能** | **知識・技能** | S | ３００ｍリレーで４人の７５ｍ走のベストタイムの合計がリレーをすることで２．７８秒（日本代表）短縮することができる。 |
| A | 同様に１．６２秒（ジャマイカ代表）短縮することができる。 |
| 技能 | Ｂ | 同様に０．１秒でも短縮することができる。 |
| Ｃ | 同様に短縮することができない。 |
| 運動や健康・安全についての思考・判断 | **思考力・判断力・表現力** | **情報収集****判断** | S | 尋ねたり，調べたり，試したりして，リレーについての見方や考え方を広げ深めることができる。 |
| A | 尋ねたり，調べたり，試したりして，リレーについて必要なものを見付け，選び出すことができる。 |
| Ｂ | 尋ねたり，調べたり，試したりして，リレーについて関係ありそうなものを見付けることができる。 |
| Ｃ | リレーについて尋ねたり，調べたり，試したりすることができない。 |
| **思考****表現** | S | リレーで勝つためのポイントを他者に伝わるように詳しく説明できる。 |
| A | リレーで勝つための複数のポイントを自分の中で理解できている。 |
| Ｂ | リレーで勝つためのポイントを１つは自分の中で理解できている。 |
| Ｃ | リレーで勝つためのポイントがわからない。 |
| 　　　　運動や健康・安全への関心・意欲・態度 | **学びに向かう力・人間性** | **挑戦****探究** | S | 粘り強い努力をすることで，挑戦問題をクリアすることができる。 |
| A | 挑戦問題のクリアをめざし，見通しを持って粘り強く努力することができる。 |
| Ｂ | 挑戦問題のクリアをめざし，努力することができる。 |
| Ｃ | 工夫や練習をしても勝てないとあきらめている。 |
| **責任****使命** | S | チームの一員としての責任を考え，自分の成長に生かすことができる。 |
| A | チームの一員としての責任を考え，チームの中で手本となることができる。 |
| Ｂ | チームの一員として責任を理解し，自分の役割を果たそうと努力することができる。 |
| Ｃ | チームの一員として自分の責任を理解していない。 |
| **協力****協働** | S | チームメートとの意見交換の中で取捨選択し，それぞれの力を生かしたリレーをすることができる。 |
| A | チームメートのいろいろな意見やそれぞれの力を生かしたリレーをするがことができる。 |
| Ｂ | チームメートと協力しようと努力することができる。 |
| Ｃ | チームメートと協力しようとしていない。 |
| **感謝****貢献** | S | チームメートに感謝・貢献することで絆を深めることができる。 |
| A | チームメートに感謝の気持ちを持って貢献することができる。 |
| Ｂ | チームメートに感謝の気持ちを持ち自分なりに貢献しようと努力することができる。 |
| Ｃ | チームメートに感謝の気持ちを持つことができない。 |

**２　単元について**

1. 生徒観
	* １学期末の生徒アンケート（１６名実施）から「保健体育が好きだ」１０名（６３％）「学びが

いがある。８名（５０％）「よくわかる」１０名（６３％）である。ほぼ半数の生徒が体育には

肯定的な考えをもっている。

* + 平成２８年度新体力テストの結果より５０ｍ走の平均タイムは男子８．０秒，女子は９．１秒，男女平均８．８秒と決して速いタイムとは言えず，能力的に高いとは言えない。

・　短距離走・リレーについてのアンケートでは「５０ｍ走が好きだ」７人（４４％），「５０ｍ走が速い方だ」６人（３８％），「リレーが好きだ」１０人（６３％）で，高い興味関心を持っているとは言えない。

* + バトンパスに関するアンケートで，「５０m走を１０秒で走る生徒が５０ｍ×４人でリレーした時のタイム予測をさせてみると１５人（８８％）の生徒が「４０秒より遅い」と回答し，バトンパスの有意性についても理解していないことが分かった。
	+ 本学園が伸ばしたい資質・能力に関するアンケートでは，リレー走で「学園が伸ばしたい資質・能力で何が伸びますかと」いう問いに対しては「協働的な態度」が１４人（８２％）「挑戦心・探究心」が９人（５２％）という数値が出ている。

（２） 単元観

リレーは減速せずにバトンパスを行い，工夫次第でその人数の合計のタイムを短縮し，チームとなることで，速いチームを逆転できることに醍醐味がある。また，チームの中でタイムが「上がる・下がる」で結果が変わることで目標を明確にもたせることができ，チームが１つになった時はモチベーションを比較的維持しやすい種目であると考える。

（３） 指導観

　　　指導にあたっては，次の５つのポイントで授業改善をすすめる。

　**①　挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する**。

**志を抱く**

**リオ五輪日本男子４００ｍリレーを見習って「世界一のリレー」をめざすぞ。**

**準備をする**

**・リレーの本質を知る。**

**・バトンパスのイメージと実際の違い**

**を分析し，改善策を立てる。**

**・チームで協力して技能を高める。**

**挑戦する**

**世界の４００ｍリレーチームと勝負しよう。**

挑戦問題

新たな志を抱く

運動会でメンバーの一員として全力を尽くす。

運動会でリレー走は生徒にとっては花形種目の１つとして取り上げられる。しかしながら，一番の醍醐味であるバトンパスについての指導は十分に行われていないという実態があり，運動会では，ほぼ止まってしまうような感じのバトンパスをする場面が少なからずある。リレーは「バトンをつなぐ」というよりは「スピードをつなぐ」ことが大切である。バトンパスの工夫によってスピードをつなぎ，タイムを短縮できることを理解させ，兄姉チームで協力しながら，実践していくことでリレーの楽しさを味わわせたいと考える。

事前アンケートで多くの生徒がリレーをすることで同じ距離を走った１人１人の合計タイムよりも遅くなってしまうと考えている。リオオリンピックで４００ｍ日本男子リレーチームが４人の合計タイムよりも２．７８秒タイムが上がったことに着目させる。そこで，工夫次第でタイムが短縮することを知り，バトンパス世界一の日本チームの２．７８秒の突破を目指し，それを挑戦問題とし，実践する。

**②　振り返り時間（５分）の充実**

リレーが得意な生徒・苦手な生徒のモチベーションが高いレベルで意識の一致を図るために大切な時間である。各チームの中でリレーを苦手とする生徒に発見できたこと，次回の授業の課題を確認し，足りない所をリーダーに補足してもらいながら，取り組む姿勢の一致を図っていく大切な時間にしたいと考えている。

**③　自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定**

図解中学体育やビデオ教材を使い，バトンパスを減速せずにスムーズにするための方法についてワークシートを使い考えさせる。そのワークシートは提出後，すぐにチェックし，教師のアドバイスを書いて生徒に返却する。そして教師のアドバイスを基に更に生徒の考えを引き出し意欲を高めていきたい。

**④　ワークシート・ノート指導の工夫**

単元計画に沿ってあらかじめワークシートは作成しておく。但し，生徒の振り返りや感想を参考にいつでも変更できるように準備しておく。最後の時間でこの単元でついた資質・能力について，生徒まとめさせていく。

**⑤　評価の工夫**

広南学園の資質・能力のＳルーブリックを活用し，教科の目標に準拠した評価活動を行う。

**３　単元の目標**

　　　　挑戦問題クリアに向けて，協力し合ってバトンパスの技術を身に付けていく。

**４　単元の評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 運動や健康・安全への関心・意欲・態度 | 運動や健康・安全についての思考・判断 | 運動の技能 | 運動や健康・安全についての知識・理解 |
| リレーの特性について強く関心を持ち，目標に向けて，進んで取り組むことができる。また，仲間と協力して安全に練習に取り組むことができる。 | バトンパスの技術向上に関して問題点を見いだし，目的意識を持って計画的に工夫して練習できるようにする。 | バトンパスを減速せず，スムーズにし，記録を伸ばすことができる。 | リレー走に関する基本用語はすべて理解し，バトンパスを減速せずスムーズにするためのポイントが説明できる知識を身に付けている。 |

**５　指導と評価の計画（全６時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | 評　　　　　　価 |
| 関 | 思 | 技 | 知 | ○評価規準（評価方法） | ★資質・能力の評価（評価方法） |
| １ | ・本単元で育てる資質・能力についてルーブリックで共有する。（めあて）**課題の設定**○協力してチームの役割分担をし，試しのリレーを実施し，自分たちの実態を把握する。**情報の収集**・良かった点・課題を自分で感じよう。また，仲間の走りを見てアドバイスをする。（タイム測定・ビデオ撮影）**整理・分析**（まとめ）○試しのリレーから発見できた自分の特徴をまとめ，次の授業につなげる。（予習課題）・一人一人の合計と，リレー走のタイムを比較し，どちらが速いかを確認しておく。 | ◎ | 〇 |  |  | （思考・判断）○兄姉チームで観察しながら互いにアドバイスできる（ワークシート）（関心・意欲・態度）◎一生懸命走り，自分の走りとバトンパスの感じをまとめることができる。（ワークシート） | ★【協力・協働】（資質・能力ルーブリック） |
| ２ | **情報の収集**・世界のトップチームを知り，リレーの特性を考える。・一人一人のベストタイムの合計よりリレー走のタイムが速くなることを知る。（めあて）○与えられた情報から一人一人のベストタイムの合計より，リレー走のタイムの方が速くなる理由を考え，リレーのタイムをあげるためのポイントを見つける。**挑戦問題****課題の設定****目指せ世界一のリレー！****整理・分析**・日本代表のテークオーバーゾーンの分析し，自分達のテークオーバーゾーンの使い方について考える。（まとめ）○リレーはスピードをつなぐことが重要であることを理解し，今日考えたことを次回の授業で実践する。（予習課題）・メンバーのタイムを考え，走順を考えておく。 |  | ◎ |  | ○ | （思考・判断）◎世界のトップのレースを分析し，リレーの特性を知り，バトンパスを分析し，課題を発見することができる。（グループ内発表・ワークシート）（知識・理解）○バトンパス時のポイントについて理解することができる（ワークシート） | ★【情報収集・判断】（資質・能力ルーブリック） |
| ３ | ・前回，考えたテークオーバーゾーン使い方を実践し，リレーをする。（めあて）**課題の設定**○前回考えたスピードをつなぐためのバトンパスのポイントを意識して走る。・タイム測定・ビデオ撮影をする。**整理・分析**・チームごとの意見交換をする。（まとめ）○次の授業でビデオ分析するために今日のリレーでのバトンパスの仕方についてよかった点・課題を把握する。 （予習課題）・自分のバトンの受け渡しが何％の仕上がりか考えておく。 | 〇 | ◎ |  |  | （関心・意欲・態度）○一生懸命走り，自分の走りとバトンパスの感じをまとめることができる。（ワークシート）（思考・判断）◎兄姉チームで観察しながら互いに気付いたことをアドバイスできる（ワークシート） | ★【思考・表現】（資質・能力ルーブリック） |
| ４ | （めあて）**情報の収集****課題の設定**○前回のビデオを分析し，自分のバトンパス受け渡しのイメージと実際を見て課題を見直す。**整理・分析**・課題を再発見する。・自分の完成度を考える。（まとめ）○チーム全員が各自の完成度を同じように理解することがチームの完成度を高める。（予習課題）・走力，バトンパスの技術習得を考えて走順を考える。・次回練習内容を考える。 |  | ◎ |  |  | （思考・判断）◎バトンパスを分析し，各自の完成度と課題をチーム全員で発見し，理解を深めることができる。（グループ内発表・ワークシート） | ★【情報収集・判断】（資質・能力ルーブリック） |
| ５ | （めあて）**課題の設定**○協力して各チームで見つけたポイントで挑戦問題クリアのために練習する。・タイム測定をする。**整理・分析**・意見交換をする。（まとめ）○テストに向けて，話し合い，最終チェックすることでチームの一体感を高める。（予習課題）・テスト当日に万全な体調にする。 |  | 〇 | ◎ |  | （関心・意欲・態度）◎チームの一員として挑戦問題クリアを全力で取り組むことができる。（ワークシート）（思考・判断）○兄姉チームで観察しながら互いに気づいたことをアドバイスできる。（ワークシート） | ★【挑戦・探究】（資質・能力ルーブリック） |
| ６ | ・練習後，最終テストをする。タイム測定を行う。**まとめ**○リレーの醍醐味はバトンパス。・見ている人を魅了するバトンパスをするには，何が必要かしっかりまとめ，運動会ではそのことが発揮できるように意識を植え付ける。・ワークシートのルーブリックをみて，本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。・ワークシートを提出し，教師の評価を受ける。 | ◎ |  |  |  | （技能）◎それぞれの走り，バトンパスを分析し，より良い結果ができるよう協力し，技能面を高めることができる（ワークシート） | ★【知識・技能】（資質・能力ルーブリック） |

**７**　**本時の学習（２時間目／全６時間）**

（１）本時の目標

　　　リレーの特性を理解し，挑戦問題クリアに向けてタイムを上げるためのポイントを見つける。

（２）学習の流れ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点（・）配慮を要する生徒への支援（◆）予想される生徒の反応（　　　　　　　） | 評価規準教科の指導事項（○）資質・能力（★）（評価方法） |
| **１　前回までの振り返りをする。（２分）**・試しのリレーの振り返りをする。単純合計タイムの確認をしておく。・アンケート結果の理由を聞く。**２日本を含む世界のトップチームの記録を分析し，リレー走の方が速くなることを知る。（５分）**・オリンピック４強のタイムを見て，リレー走が速くなることを知る。**課題の設定****３　本時のめあてを確認し，挑戦問****情報の収集****題を知る。（５分）****めあて「一人一人の合計より，リレー走のタイムの方が速くなる理由を考え，リレーのタイムをあげるためのポイントを見つける」****挑戦問題　　　「目指せ世界一のリレー！」****４　リオ五輪男子４００ｍＲ決勝日本男子代表(ピンクのユニフォーム)と自分達の試しのリレーのビデオを見て，バトンパスの時，何が違うか比較する。****（１５分）****情報の収集****５　受け手と渡し手がどのようなスピードで渡しているか考えさせる。（８分）****６　バトンをどのようにつなげば****スピードが維持できるかを考****える。（５分）****整理・分析****７　本時のまとめを行う。（５分）****８　振り返りをする。（３分）****まとめ**・予習課題を提示する。（２分） | ・リレーのグループ毎に座るよう配置させる。・生徒アンケートで「単純合計よりリレーの方が遅い」の回答が８８％ということをあげながら，なぜ遅いのか理由を聞いてみる。・バトンパスが下手　・カーブが多い・バトンパスが上達することで速くなるの？と切り返しの発問し，実際に速くなるのか考え，実践してみることを伝える。・単純合計よりリレーは速くなる・日本はバトンパスでは世界一・日本はバトンパスのタイム短縮では世界一。ジャマイカは３日間，日本は３か月の練習。チームで結束すると，強いものと互角になることができることをおさえる。・タイム短縮なんかできない。　難しい。・合計タイム－リレータイムの差を評価基準に世界一のリレーを目指すこと挑戦問題とする。・バトンパスの時のスピード・減速しないでスムーズなバトンパスが行われていることに着目させ，バトンパスはバトンではなく，スピードをつなぐのが目的であることに気付かせる。・受け手と渡し手がどのような速度で渡しているかグラフ化させて，課題を発見させる。・しっかり助走してバトンパスをする。・バトンパスの仕方ではスピードのつなぎ方のポイントについて考えさせる。**生徒のまとめ例**スピードをつなげるために，スタートからバトンを渡し終えるまで１００％の力で走ることが，リレーが速くなるためのポイント・トップスピードで渡すためにしっかり助走する。そうすれば，オリンピック選手に近づけることを理解させる。・メンバーのタイムを頭に置き，どのような走順すれば，理想のバトンパスを行えるかグループで話し合って考えておく。 | （思考・判断）○オリンピックのリレーをもとにバトンパスの特性を知った上でスピードをつなぐとはどういうことを考えさせる。★情報収集・判断ＳルーブリックS　尋ねたり，調べたり，試したりして，リレーについての見方や考え方を広げ深めることができる。A　尋ねたり，調べたり，試したりして，リレーについて必要なものを見付け，選び出すことができる。Ｂ 尋ねたり，調べたり，試したりして，リレーについて関係ありそうなものを見付けることができる。Ｃ リレーについて尋ねたり，調べたり，試したりすることができない。（知識・理解）〇バトンパス時のスピードを維持するためのポイントについて考える。（ワークシート）★資質・能力Ｓルーブリックで自己評価する。（ワークシート） |